

事務事業名		吉田総合センター庁舎管理事業		所属部	吉田総合センター	所属課	市民サポート課
総合計画体系	政策名	〈I〉みんなで築くまち〈協働・行政経営〉		所属G	市民サポートグループ	課長名	渡部 一雅
	施策名	〈05〉時代にあった行政サービスの実現		担当者名	石原 聡志	電話番号	0854-74-0211 (内線) 4412
	目的・対象	A)市民 B)行政機能	意図 公平で効率的なサービスを受ける(提供する)。	予算科目	会計	款	大事業名
	基本事業	〈012〉業務と組織機構の効率化			0:1:1:0	0:3	大事業名
目的・対象	行政機能	意図 効率的な組織機構で効果的な行政サービスを提供する。	項目	中事業	中事業	中事業	庁舎管理事業
				0:5:3:0	0:2	中事業	

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
吉田総合センター庁舎(吉田健康福祉センター)	・庁舎を適切に維持することにより市民や来庁者の利便性・快適性を高める。
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(H16 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	・吉田総合センター庁舎維持管理、警備業務及び吉田健康福祉センターの夜間休日における警備業務
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R4年度実績(R4年度に行った主な活動)	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)
・庁舎警備業務委託(吉田健康福祉センター含む) ・光熱水費等の維持管理費の支払い ・消防設備、自家用電気工作物等の保守点検業務委託 ・電話設備修繕	H27耐震診断では耐震改修必要なし、適切な修繕により継続使用可能との結果だったため、大規模修繕・大規模改修を基本として本庁関係部局と協議を重ねた。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(実績)	R5年度(計画)
ア 稼働日数(吉田総合センター)	日	365	365	365	366
イ 稼働日数(吉田健康福祉センター)	日	365	365	365	366
ウ 委託件数	件	4	4	4	4
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R4年度決算)		② コストの推移		単位	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(計画)
報酬(日直業務) 1,928	旅費(日直業務) 17	財源内訳	国庫支出金	千円				
需用費(消耗品費) 40	需用費(燃料費) 158		県支出金	千円				
需用費(光熱水費) 1,408	需用費(修繕費) 22		地方債	千円				
役務費 48	委託料 5,280		その他	千円	218	203	2,874	84
使用料及び賃借料 211			一般財源	千円	8,468	8,702	9,043	9,679
工事請負費 2,805		事業費計	千円	8,686	8,905	11,917	9,763	

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	・施設の適正な維持管理を行うことにより吉田町の基幹的な行政施設また地域防災拠点施設として吉田総合センターが機能している。
② 事業実施するうえでの課題	・S49年竣工で築後48年経過し耐用年数(50年)に近付いている。吉田総合センターの継続検討中であるが、現施設及び設備は老朽化が進んでおり継続使用する場合は、大規模な修繕が必要。
③ 課題解決に向けた改革改善等	・H27耐震診断時より老朽化が進んだことや修繕費、維持費が多額になることから、庁内協議において整備方針を定める。